

令和2年(2020年)11月25日

豊中市長

長内 繁樹 様

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会

会長 高橋 一夫

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の
進捗状況の検証について（答申）

令和2年(2020年)9月8日に本委員会に諮問された、豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証について、審議結果を別紙のとおり答申します。

令和2年度(2020年度)
**豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略
の進捗状況の検証等について**

(答 申)

令和2年(2020年)11月
豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会

目次

I. 答申にあたって	1
II. 審議結果	2
1. 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について	
2. 令和元年度地方創生関係交付金に係る事業報告について	
III. 審議経過	3
IV. 審議会委員	3

1. 答申にあたって

国の地方創生の取組みに合わせ、豊中市は、平成27年（2015年）に「豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と「豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「豊中市総合戦略」という）を策定しました。豊中市総合戦略では、2040年の人口展望を38万人とし、将来の方向性として「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」を掲げ、5つの基本目標を基に取組みを進め、令和2年度からは、豊中市総合戦略の考えを引き継いだ「第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2期豊中市総合戦略」という）の取組みを進めています。

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会は、豊中市総合戦略の進捗状況の検証を通じて、取組みがさらに推進されるよう審議を行っています。

計画期間の5年を経過したことで、当委員会では、第1期豊中市総合戦略の総括や第2期豊中市総合戦略の進捗管理にあたっての留意点、地方創生の交付金を新しく活用した事業の効果について審議しました。

次のとおり審議結果をとりまとめましたので、今後の施策に活かしていただき、魅力あふれるまちにつながることを期待します。

令和2年(2020年) 11月25日
豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会
会長 高橋 一夫

II. 審議結果

1. 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

豊中市総合戦略の進捗状況を測るために設定したKPI等について、社会増加数や待機児童数などが目標を達成するなど、基本目標の達成に向け、概ね順調に進んだと判断できる。

総合戦略に掲げている人口の減少に歯止めをかける観点では、ここ5年間で、自然増は自然減に転じたが、それを上回る社会増だったため人口増加となっている。今後は社会増だけでなく、自然増減の分析や人口の定着率にも注目しながら、自然増につながる施策の展開についても議論していく必要がある。

転入超過・転出超過の年代を把握することで、その年代のニーズが満たされているかがわかるので、次の施策の検討材料にされたい。あわせて、施策を推進するにあたっては、それらの取組みにより将来の人口が想定よりも増加した時のことも踏まえるなど、長期的な視点で施策を展開することが必要である。

その他、平成29年から待機児童ゼロを維持するなど、子育て支援に関するKPIも順調に進んでいるが、子育てしやすいまちであると感じている市民の割合が減少傾向であり、実感と数値に差があるように思われるので、他市との比較も含めて、その要因分析を行う必要がある。

以上のことをふまえて、第2期豊中市総合戦略では、引き続き要因分析を行い、適切な政策評価につなげていただきたい。また新型コロナウイルス感染症の流行により地域経済に大きなダメージを与えられていることや、これまでの生活様式が変わることにより、子どもたちへの環境や地域のつながりなど広範囲にわたり影響が出ている。これらの影響をふまえて、目標達成のために必要な補足的指標を設定するなど、第2期総合戦略の進捗をより多角的な視点で測られたい。

2. 令和元年度地方創生関係交付金に係る事業報告について

令和元年度（2019年度）に地方創生推進交付金を活用した「働き方改革実現のための就労困難者と地域企業をつなぐ、地域の人材雇用促進・企業活性化ステップアップ事業」は、K P I 等の実績値から働く意欲がありながら就職が実現しない求職者の就労につながる点及び地域の企業や産業の活性化につながる点などで効果があることが認められる。

こうした取組みの効果をより高めるためにも、講座の状況や実習の様子などをわかりやすく伝える手法を検討し、より多くの市民に知ってもらえるよう工夫されたい。

Ⅲ. 審議経過

回	開催日程	内容
第1回	令和2年 9月8日（火）	豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況 の検証の諮問について
第2回	10月20日（火）	答申案について

Ⅳ. 審議会委員

	区分	名前	所属等
1	学識経験者	○ 石川 路子	甲南大学経済学部 教授
2		◎ 高橋 一夫	近畿大学経営学部 教授
3		山下 香	甲南女子大学文学部 准教授
4	商工業団体代表	吉村 直樹	豊中商工会議所 副会頭
5	金融業代表	藤田 隆史	池田泉州銀行 豊中支店 支店長
6	報道業代表	古川 圭子	株式会社毎日放送アナウンサー 室 アナウンス部 マネージャー
7	労働者代表	重長 寿典	連合大阪豊中地区協議会 議長
8	市民	相馬 英子	

◎会長、○会長職務代理者

※区分ごとに五十音順、敬称略、役職等は令和2年(2020年)9月1日現在